

Unit 43 : Finding out or making sure? (情報を知ること、情報の確認)

Questions (1)

A, 我々が質問をする時、知らない情報を知ろうとする。あるいは、知っていると思うことが正しい情報であることを確認するために質問する。

・知ろうとする質問は下降調で終わる。

したがって WH 疑問文はよく情報を知ろうとする質問に使うので、下降調となる傾向がある。

・情報を確認するための質問は一般的に上昇調、もしくは下降—上昇調で終わる。

(例外は B で述べる。)

*したがって、Yes-No 疑問文はよく情報を確認するために使われるため、上昇調や下降—上昇調となる傾向がある。

*しかしながら、WH 疑問文を使って情報を確認しようとする時上昇調や下降—上昇調で終わる。また、Yes-No 疑問文を使って情報を知ろうとする時下降調で終わる。

B, 情報を確認する疑問文において一般的に、上昇調と下降—上昇調の間には意味の違いがある。しかし、下降調—上昇調は上昇調よりも礼儀正しく聞こえる。特に下降調—上昇調は疑問文で社会的な思考 (情報を確認するというより礼儀正しく、親しみがあることに重点をおくこと)を含む。

C, 他の疑問文もまた相手の答え方によって使い分けられる。ここでも情報を知るために下降調を使い、上昇調と下降—上昇調を情報の確認のために使う。例えば、*would you mind, perhaps, I wonder* といった疑問の形は下降調となる。

*WH 疑問文と Yes - NO 疑問文が下降調となる時には上昇調と下降—上昇調より誠実かつ礼儀正しい。

ポイント

- ・知らない情報を知ろうとする時＝下降調
- ・情報を確認する時＝上昇調、下降—上昇調
- ・下降—上昇調は礼儀正しいニュアンスがある

Unit 44 Question(2)

A 疑問文は情報を調べたり調査するというよりむしろ、論評したり感嘆を表すのにしばしば用いられる。答えは必ずしも期待されていない。

否定的な Yes-No 疑問文はたいてい驚きや喜びといったものを表現するのに、特に他の人に同意してもらいたいときに使われる。これらはたいてい下降調となる。

くだけた英語では、肯定的な Yes-No 疑問文も用いることができ、特に非難を表現するときに使われる。これらはたいてい上昇調となる。

WH 疑問文は論評するとき、特に modal verb が共に使われるときに用いられる。これらはたいてい下降調となる。

B 時々自分が尋ねて、相手が答える前にありそうな答えをそれとなく言うことがある。自分が正しいと考えていることを確かめるという目的でこうしたありそうな答えをいうときは、下降上昇調となる。

C 疑問文は何かを教えたり提案するときにも使われる。これらは下降調となり、すべてではないが modal verb をしばしば伴う。